

研究業績一覧 (2012年)

秋山 憲治 (アキヤマ ケンジ)

1 著書

『東アジアの地域協力と秩序再編』(共著) 御茶の水書房、2012年3月
『現代国際経済論』(共著) 八千代出版、2012年11月

2 論文

「バングラディシュの経済発展と課題」(研究ノート) 神奈川大学経済学会『商経論叢』第47巻第3・4号合併号、2012年5月
「TPPと日中韓 FTA」拓殖大学海外事情研究所『海外事情』第60巻7・8号、2012年7月

3 学会・シンポジウム

(1) 報告

西安国際シンポジウム (中国陝西大学) 「TPP and Northeast Asia」(基調報告)、2012年8月

国際交流シンポジウム (中国遼寧大学) 「TPPと北東アジア」(基調報告)、2012年9月

(2) コメント文

松尾仁「アジアの発展と食料貿易」『アジア市場経済学会年報(第15号)』2012年8月、100頁

4 その他

「TPP交渉と日本の課題」『神奈川新聞』(経済面「リサーチ」)、2012年8月13日

飯塚 信夫 (イイツカ ノブオ)

1 論文

“Japanese Economy : Issues for the Coming Decade” Economy, Culture & History JAPAN SPOTLIGHT Bimonthly, Japan Economic Foundation, March/April 2012, pp. 12-15

「日本の貿易収支赤字は定着するのか—最新データに基づくファクト・ファンインディング

- 一」 神奈川大学経済貿易研究所『経済貿易研究』第38号、2012年3月、pp.23-32
- 「日本の輸出入関数の再検討—貿易赤字の持続性に関するシミュレーション—」 Kanagawa University Economic Society Discussion Paper No.2012-03、総22頁、2012年9月
- 「経済統計の特徴と時系列分析への適用」(宮川努氏との共著) 刈屋武昭・前川功一・矢島美寛・川崎能典・福地純一郎編『経済時系列分析ハンドブック』第4章2、2012年10月、pp.311-332
- 「日本の貿易収支赤字は定着するのか—最新データに基づく輸出入関数によるシミュレーション—」、景気循環学会『景気とサイクル』第54号、2012年11月、pp.44-55

2 学会発表・講演等

- 「日本の貿易収支赤字は定着するのか」 景気循環学会 2012年度第1回定例研究会、2012年5月18日
- 「篠崎・田原論文へのコメント」 ESRI セミナー、内閣府経済社会総合研究所、2012年8月8日
- 「日本の輸出入関数の再検討—貿易赤字の持続性に関するシミュレーション—」 2012年度統計関連学会連合大会、北海道大学(札幌市)、2012年9月10日
- 「各種経済指標の見方・使い方」 2012年度経済分析基礎研修、経済産業省、2012年9月26日
- 「経済・金融統計の見方2」平成24年度統計研修課程・本科(112期)、総務省統計研修所、2012年11月9日

3 その他(エッセイなど)

- 「貿易赤字」下の日本経済—少子化を乗り越える成長戦略とは—『神奈川新聞』経済面「Reserch」、2012年2月27日

産労総合研究所『賃金事情』における以下の連載

「震災後の経済データを読み解く」

- ①2012年の経済見通しは？(2012年1月20日号)
- ②財政悪化の主因は何か？(2012年2月20日号)
- ③震災1年、復興への道のり遠く(2012年3月20日号) = 最終回

「人事に役立つ経済データの読み方」

- ①さまざまな“顔”を持つ消費者物価(2012年4月20日号)
- ②短観の判断 DI で知る経営者のココロ(2012年5月20日号)
- ③設備投資関連指標の微妙なカンケイ(上)(2012年6月20日号)
- ④設備投資関連指標の微妙なカンケイ(下)(2012年7月20日号)
- ⑤企業の新卒採用意欲は高まったのか(2012年8月20日号)
- ⑥雇用者数は増えているのか？減っているのか？(2012年9月20日号)
- ⑦労働経済動向調査の特徴と足元の動向(2012年10月20日号)
- ⑧景気の先行きに懸念、カギ握る輸出の行方は？(2012年11月20日号)
- ⑨後退色強まる景気、「山」の判断基準は？(2012年12月20日号)

出雲 雅志（イズモ マサシ）

1 論文

「Buller, Ricardo, and Marx」『商経論叢』第47巻第3・4合併号、神奈川大学経済学会、2012年5月、69-80ページ

2 学会報告

‘The Reception of Ricardo in Japan in the Late 19th and Early 20th Centuries’, International Ricardo Conference on “Money, Finance, Bank, Liberal Economists and Ricardo” and “Reception and Diffusion of Ricardo”, March 18, 2012, Co-op Inn Kyoto, Kyoto.

大林 弘道（オオバヤシ ヒロミチ）

1 論文

「現代資本主義経済と中小企業—「中小企業の見地から展望する日本経済ビジョン」の実現のために—」『企業環境研究年報』（No.16）、2011年12月

2 著書分担執筆

「現代中小企業運動の展開」（永山利和編著『現代中小企業の新機軸』同友会、第3章所収）、2011年6月

3 研究ノート

「新たな製品概念への試み—「数楽アート」の考察—」『商経論叢』第47号第2号、2011年12月

4 講演録

「地域づくりと官公需組合の役割」『中小企業と組合』No.810、2012年8月

5 書評

「植田浩史・北村慎也・本多哲夫（編著）『地域産業政策—自治体と実態調査—』創風社、2012年」『中小企業季報』No.8、大阪経済大学中小企業・経営研究所、2012年

「愛知中小企業同友会50年史編集委員会（監修）『道なきみちを—愛知中小企業同友会50年史』中日新聞社、2012年」『企業診断』Vol.59、2012年12月

6 その他

「DORの眼 世界でたたかう」『同友会景況調査報告（DOR）』第99号、2012年4月

岡村 勝義（オカムラ カツヨシ）

1 論文

「公益法人の制度転換と会計枠組みの変化」『産業経理』第72巻第2号、2012年7月、4-15ページ

2 学会報告

「日本及び諸外国における非営利法人制度に関する研究—制度史・制度設計・報告制度・税制度等を中心にして—」（非営利法人研究学会東日本部会（部会長：岡村勝義））第16回非営利法人研究学会全国大会（北星学園大学）、2012年8月26日

3 その他

「（論壇）情報公開とガバナンス、そして人」『公益・一般法人』第820号、2012年5月、1ページ

「学校法人会計基準の何が問題か—公益法人会計基準からの示唆—」『大学監査協会ニュース』第4号、2012年8月、34-35ページ

奥山 聡子（オクヤマ サトコ）

1 研究論文

「バブル崩壊直前の銀行の投資行動」神奈川大学『経済貿易研究』No.38、9-22頁

2 国際学会発表

“The Development of Border Economic Zones : The Economic Potentiality of Asia’s Golden Triangle”, *Conference on Poverty, Inequality and Growth*, Tokyo International University, Japan, December.

兼子 良夫（カネコ ヨシオ）

1 著書

『地方財政』八千代出版、2012年4月

川村 哲也（カワムラ テツヤ）

1 論文

「『資本論』と資本制」『商経論叢』第47巻第3・4合併号、神奈川大学経済学会、2012年5月

五嶋 陽子（ゴトウ ヨウコ）

1 論文

- K. U. Economic Society Discussion Paper Series #2011-03
「所得課税の基本問題—課税単位と扶養控除」2012年1月
- K. U. Economic Society Discussion Paper Series #2012-02
「占領下日本における人的控除の国内的帰結」2012年6月

酒井 良清（サカイ ヨシキヨ）

1 その他

- 「欧州債務危機の本質—ユーロが内包する制度的欠陥—」『神奈川新聞』、2012年6月11日

佐藤 孝治（サトウ コウジ）

1 論文・その他

- 「巻頭言・東日本大震災を超える巨大災害への想像力」『自治研月報・神奈川』第132号、2012年2月
- 「巨大地震、減災が重要：想像力を持って対策を」『大分合同新聞』（かぼす論壇—故郷への提言）、2012年9月21日夕刊
- 「IMF レポート “Can Women Save Japan?” をどのように考えるか」テレワーク推進フォーラム調査普及部会（事務局・厚生労働省）、2012年12月、1-10ページ
- 「テレワーク・セキュリティガイドライン報告書」（監修：佐藤孝治）、総務省情報通信政策局、2012年12月

2 講演

- 「最近のアメリカのテレワーク動向：事業継続と公共政策の課題」経済産業省・テレワーク推進セミナー（東京都、AP 東京）、2012年2月14日
- 「The Great East Japan Earthquake of March 11 and Socio-Economic Impacts in Japan」カリフォルニア大学交通問題研究所（デービス校）、2012年3月1日
- 「東日本大震災と社会経済的な影響」防災塾・だるま（神奈川大学横浜キャンパス）、2012年3月30日
- 「3.11を通して考える企業の事業継続と被災地支援」神奈川大学講演会『東日本大震災の教訓・減災社会に向けて』（神奈川大学横浜キャンパス）、2012年5月16日
- 「東日本大震災の社会経済的な影響：現地調査から見た被災地の現状と問題点」佐賀県立名護屋城博物館・名城会共催後援会（佐賀県唐津市）、2012年8月5日
- 「東日本大震災の社会経済的な影響：現地調査から見た被災地の現状と問題点」唐津市立呼子中学校講演会（佐賀県唐津市）、2012年8月6日

「格差社会の現実と若者たちの将来：フリーターの何が問題か」神奈川県立横浜清陵総合高校出張授業（横浜市内南区）、2012年9月27日
「大震災1年半後の被災地の現状と問題点：仮設住宅とガレキ処理」神奈川大学連続講演会『大規模災害と減災 Part 2』（神奈川大学横浜キャンパス）、2012年11月27日

田中 弘（タナカ ヒロシ）

1 著書

『会計基準—新しい時代の会計ルールを学ぶ』税務経理協会、2012年1月
『IFRSはこうなる—「連単分離」と「任意適用」へ—』東洋経済新報社、2012年3月
『経営分析—監査役のための「わが社の健康診断」』税務経理協会、2012年3月
『新財務諸表論（第4版）』税務経理協会、2012年10月
『国際会計基準の着地点—田中 弘が語るIFRSの真相』税務経理協会、2012年11月

2 論文

「日本の会計学の『夜明け』」『税経通信』、2012年1月
「嗚呼、オリンパス！」『税経通信』、2012年2月
「IASBはどこで道を誤ったか—狂信的時価主義者の『遺恨晴らし』—」『金融財政ビジネス』、2012年2月9日
「IFRSから『Sound Accounting』へ」『ニュースレター協同金融』協同金融研究会、2012年2月
「日本はいかなる会計を目指すべきか(1)—経営者の実感と社会通念に合った会計観を—」『税経通信』、2012年3月
「知られざる会計戦争—日本の富はどこへいくのか」『三浦半島支部だより』宮陵会三浦半島支部、2012年3月25日
「日本はいかなる会計を目指すべきか(2)—IFRSを超えて」『税経通信』、2012年4月
「なぜ企業解体の儲けを追及するのか—M&Aに頼る米国の経営者—」『金融財政ビジネス』、2012年4月4日
「アメリカの投資家はどこで道を間違えたのか」『税経通信』、2012年5月
「オバマ大統領の経済政策とIFRS」『税経通信』、2012年6月
「IFRS、受け入れ難いオバマ政権—産業界から反発も—」『金融財政ビジネス』、2012年6月25日
「会計学における『概念フレームワーク』と『ピースミールアプローチ』(1)」『税経通信』、2012年7月
「会計学における『概念フレームワーク』と『ピースミールアプローチ』(2)」『税経通信』、2012年8月
「会計戦争の行方—国際会計基準（IFRS）の真相と着地点—」『商経論叢』第48巻第1号、神奈川大学経済学会、2012年9月
「概念フレームワークの大罪(1)」『税経通信』、2012年9月
「概念フレームワークの大罪(2)」『税経通信』、2012年10月

「急激に失速する IFRS—日米は消極姿勢—」『金融財政ビジネス』、2012年10月1日
 「遠ざかる国際会計基準（IFRS）」『税経通信』、2012年11月
 「IFRS を超えて」『税経通信』、2012年12月
 「誰が IFRS 導入を歓迎しているのか—日米とも『冷めた目』に—」『金融財政ビジネス』、
 2012年12月17日
 「信用組合における会計基準のあり方と税制の優遇措置」全国信用組合中央協会、2012年12
 月
 「究極の時価会計の本質 IFRS は企業売買のための会計基準だ」『エコノミスト』、2012年9
 月11日

3 講演他

「知られざる『会計戦争』—日本の富はどこへいくのか」神奈川大学宮陵会三浦半島支部、2012
 年1月29日
 「TKC IFRS フォーラム2012 IFRS の今後の方向性」TKC、2012年2月13, 14, 20日
 「IFRS の最新事情と今後の展望」（談話）TKC『G プロ（電子ブック）』創刊号（第1号）、
 2012年5月11日
 「知られざる『会計戦争』—狙われる日本の富」社団法人経済倶楽部、2012年6月24日
 「会計戦争の行方—日本の富はどこへ行くのか」辻・本郷税理士法人、2012年6月27日
 「知られざる会計戦争—国富の争奪戦が始まった」神奈川大学会計人会年次総会、2012年7
 月3日
 「国際会計基準の本質と企業評価」丸紅グループ「紅審会」、2012年7月24日
 「国際会計基準の近時の動向」日本 IR プランナーズ協会、2012年8月9日
 「IFRS をめぐる現状と日本の会計の進路」産業経理協会・会社経理分科会、2012年10月23日
 「経営分析の基本的技法とその活用—わが社の『健康診断』—」産業経理協会・会社経理分
 科会、2012年11月27日
 「簿・財 同時学習の勧め—石二鳥の勉強方法」『税経セミナー』、2012年12月臨時増刊号

玉井 義浩（タマイ ヨシヒロ）

1 論文

A Microeconomic Foundation for the Phillips Curve under Complete Markets without any
 Exogenous Price Stickiness: A Keynesian View “Theoretical Economics Letters” Vol.2 No.5
 pp.482-486, 2012年12月27日

2 学会報告

Asymmetric Wage Indexation under Knightian Uncertainty

（助統計研究会金融班委員会（北海道斜里町・ウトロ漁村センター）、2012年9月7日

Nominal, Downward Wage Rigidity and Knightian Uncertainty

日本経済学会秋季大会（九州産業大学）、2012年10月8日

1 論文

「地域振興のための簿記の役割(5)―新たな農業者のモデル分類を中心に―」『商経論叢』第47巻第3・4合併号、2012年5月、149-162ページ

「地域振興のための簿記の役割(6)―農家および農業法人に対するヒアリング調査を中心に―」『商経論叢』第47巻第3・4合併号、2012年5月、163-182ページ

「第27回全国大会・簿記実務研究部会（中間報告）：地域振興のための簿記の役割―農業・地場産業を対象として―」『日本簿記学会年報』第27号、2012年7月、10-16ページ

「地域振興のための簿記の役割―農業・地場産業を対象として―」『会計』第182巻第2号、2012年8月、33-47ページ

「地域振興のための簿記の役割(7)―6次産業化農事組合法人に対するヒアリング調査を中心に―」『商経論叢』第48巻第1号、2012年9月、109-121ページ

「地域振興のための簿記の役割(8)―最終報告書の解題―」『商経論叢』第48巻第2号、2012年12月、55-77ページ

2 学会報告

「地域振興のための簿記の役割―農業・地場産業を対象として―（最終報告）」（日本簿記学会・簿記実務研究部会報告を部会長として代表報告）、日本簿記学会第28回全国大会（熊本学園大学）、2012年9月9日

3 報告書

『地域振興のための簿記の役割―農業・地場産業を対象として―』（日本簿記学会・簿記実務研究部会 最終報告書）、2012年9月、1-178ページ

4 その他（研究会報告、ヒアリング調査、学会ルポ）

個人野菜農家の脇仲男氏、個人肥育農家の平松輝久氏、農事組合法人「竹仁の郷」、および農業組合法人「さだしげ」（共に東広島市）のヒアリング調査、2012年1月14・15日

第6回簿記実務研究部会・研究会：岩手県立大学、2012年2月4日

第7回簿記実務研究部会・研究会：熊本学園大学、2012年3月10日

手づくりモクモクファーム（三重県伊賀市）のヒアリング調査、2012年3月30日

農事組合法人「聖の郷かわしり」（広島県世羅）および農事組合法人「ファーム・おだ」（東広島市）のヒアリング調査、2012年4月14日・15日

第8回簿記実務研究部会・研究会：広島大学西条サテライトオフィス、2012年4月15日

第9回簿記実務研究部会・研究会：沖縄国際大学、2012年6月2日

第10回簿記実務研究部会・研究会：岩手県立大学、2012年7月1日

農林水産省食料産業局総務課ファンド企画室担当官へのヒアリング調査、2012年7月23日

「学会ルポ：日本会計研究学会特別委員会報告(1) 会計基準の国際的統合と財務報告の基礎概念」『企業会計』第64巻第12号、2012年12月、144-145ページ

外木 好美（トノギ コノミ）

1 報告

「財務データを利用した投資関数の推計—Tobin's 理論—」データ解析研究会，神奈川県，2012年7月19日

2 その他

「資本蓄積の要因と景気循環・経済成長の国際比較」博士学位申請論文口述試問（一橋大学），2012年12月10日

中野 宏一（ナカノ コウイチ）

1 著書

『海外市場開拓のビジネス（第2版）』（共著）白桃書房、2012年10月

西川 登（ニシカワ ノボル）

1 論文

「明治初期の三井物産会社の帳簿組織」『商経論叢』第48巻第2号、2012年12月

2 学会報告

「明治初期の三井物産会社の帳簿組織」日本簿記学会第28回全国大会（熊本学園大学）、2012年9月10日

「「中小企業の会計に関する基本要領」の意義と課題」会計理論学会第27回全国大会（立命館大学）、2012年10月13日

「三井物産会社の明治初期の決算報告」日本会計史学会第31回大会（専修大学）、2012年10月20日

西村 陽一郎（ニシムラ ヨウイチロウ）

1 論文

「未利用特許と企業の収益性に関する統計学的分析」Kanagawa University Economic Society Discussion Paper No.2012-001

「知的財産と借入資本コストの計量実証分析」『商経論叢』第48巻第1号、2012年9月

2 学会報告

Yoichiro Nishimura & Sadao Nagaoka, “An empirical assessment of the effects of patent thickets: Evidence from Japanese firm level data” European Policy for Intellectual Property

2012, University of Leuven, Belgium

「特許指標間の関係性分析」研究・技術計画学会（第27回年次学術大会）、一橋大学、2012年10月

「特許指標間の関係性分析」日本知財学会（第10回年次学術研究発表会）、大阪工業大学、2012年12月

三島 斉紀（ミシマ ムネノリ）

1 著書

「Maslow 理論における Blackfoot 調査の地位—「基本的欲求」と「シナジー」の概念的基礎—」『リーマン・ショック後の企業経営と経営学』千倉書房、2012年9月

2 学会・研究会報告

“A research on the correlation of regular employment and marriage in Japan”（共同発表）、*The 4th Korea and Japan Business Research Seminar*, Seoul, Korea, Myongji University, March, 2012

「A.H.マズローの自己実現概念—その変遷過程—（亚伯拉罕 哈罗德 马斯洛的自我实现概念—关于变迁过程—）」国际学术研讨会 中日邦交正常化四十年回顾与展望（中华人民共和国・辽宁大学）、2012年9月

「Maslow 学説における Blackfoot 調査の意義」（河野昭三との共同発表）九州心理学会第73回大会（鹿児島大学）、2012年11月

3 その他

「マズロー理論の基本的特質について」（河野昭三との共著）『九州心理学会第72回大会発表論文集』、2012年3月、2頁

「A.H. マズローの自己実現概念—その変遷過程—」『国际学术研讨会 中日邦交正常化四十年回顾与展望 论文集』、2012年9月、36-42頁

「Maslow 学説における Blackfoot 調査の意義」（河野昭三との共著）『九州心理学会第73回大会プログラム』、2012年11月、29頁

森泉 陽子（モリイズミ ヨウコ）

1 著書（分担執筆）

Yoko Moriizumi and Michio Naoi, “Unemployment Risk, Homeownership and Housing Wealth : Lessons from Bubble Aftermath in Japan”, in C. Jones, M. White, and N. Dunse, eds., *Challenges of the Housing Economy*, Wiley-Blackwell, UK.

2 学会発表

Michio Naoi and Yoko Moriizumi, “Optimal consumption and portfolio choice in the presence

of housing, Evidence from Japanese households”, European Network for Housing Research Workshop, Vienna, February, 2012

Michio Naoi, Yoko Moriizumi and Norifumi Yukutake, “Empirical Evidence on Unemployment Risk and Mortgage Choice in Japan, AsRES-AREUEA 2012 Joint International Conference, Singapore, July, 2012

3 その他

・学会関連

応用地域学会座長、討論者、青森公立大学、2012年11月

・Referee

Urban Studies (University of Glasgow, UK)

八ッ橋 治郎（ヤツハシ ジロウ）

1 その他

座談会

「リスクと物流」『経済貿易研究』第38号、神奈川大学経済貿易研究所、2012年3月、1-8ページ

柳澤 和也（ヤナギサワ カズヤ）

1 論文

「拡大当代中国高等教育之需要条件——具備学雑費負担能力的城市居民家庭占比与可負担学雑費家庭的可支配收入下限」遼寧大学日本研究所・全国日本経済学会・神奈川大学共催『国際学術研討会中日邦交正常化四十年回顧与展望記念論文集』、2012年9月、43-52頁（日本語訳「現代中国における高等教育拡大の必要条件——学雑費負担能力を有する都市住民世帯の比率と学雑費を負担しうる世帯可処分所得の下限」遼寧大学日本研究所・全国日本経済学会・神奈川大学共催『国際シンポジウム日中国交正常化40周年回顧と展望論文集』、2012年9月、43-52頁）

山口 拓美（ヤマグチ タクミ）

1 論文

「エクスプロイテーション（搾取）概念と功利主義批判」『商経論叢』第47巻第3・4合併号、神奈川大学経済学会、2012年5月、141-148ページ

2 学会報告

「マルクスにおけるエコロジー経済学の萌芽——自然のEXPLOITATIONとその邦訳語につ

いて」経済学史学会第76回大会、小樽商科大学、2012年5月27日
「ファクトリー・ファーマーへの社会的反応——動物および労働者保護の日欧比較」経済理論学会第60回大会、愛媛大学、2012年10月6日

山本 崇雄（ヤマモト タカオ）

1 著書

『理論とケースで学ぶ国際ビジネス＜三訂版＞』（共著）、同文館出版、2012年9月
『コンテクストデザイン戦略』（共著）、芙蓉書房出版、2012年11月

2 論文

「日本の多国籍企業の新規事業開発と組織・人材マネジメントの変革に向けて」（共著）『世界経済評論』、2012年5/6月号、pp.42-48

3 研究助成

「日系多国籍企業と「双面性」のマネジメントに関する研究—組織・人材の観点から—」（平成24～26年度 科学研究費助成事業 若手研究（B））

山本 通（ヤマモト トオル）

1 著書

『エレメンタル欧米経済史』共著、晃洋書房、2012年4月（第6・7・9・10・12・13・14・18・19・20章を担当執筆）
『英国福祉ボランティアリズムの起源—資本・コミュニティー・国家—』共著、ミネルヴァ書房、2012年5月（第2章を担当執筆）

2 論文

「産業革命の知的起源：『科学的文化』と『産業的啓蒙』」『商経論叢』第48巻第1号、（神奈川大学経済学会）2012年9月、1-19頁

3 その他

「名著を読む：R・H・トーニー『宗教と資本主義の興隆』」『一橋大学基督教青年会会報』58号、45-48頁

山本 博史（ヤマモト ヒロシ）

1 研究報告

「日本とタイ政治経済の今日——タイ自動車産業の展開、日本人の所得の観点から」アジア

2 研究ノート

「第6章 タイ—市民社会への模索と民主主義の苦悩」『市民社会の可能性と限界 理論と欧
重6カ国の実証分析』中田潤編、茨城大学推進研究プロジェクト報告書、2012年3月、
pp.99-130

3 共著

「タイ経済の現状と課題」『現代国際経済論』安田信之助編著、八千代出版、2012年11月、
pp.131-146

4 書評

「遠藤元著 新興国の流通革命—タイのモザイク状消費市場と多様化する流通」『アジア研
究』第57巻第3号、アジア政経学会、2011年7月、pp.65-68

横川 和穂（ヨコガワ カズホ）

1 論文

「ロシアにおける近代化政策と地域経済」日本国際問題研究所平成23年度ロシア研究会最終
報告書『ロシアにおけるエネルギー・環境・近代化』、2012年3月

「ロシアにおける地域経済の近代化と連邦・地方政府」シンポジウム「日中国交回復40周
年：歴史と展望」論文集、2012年9月

2 研究報告

「ロシアにおける地域経済の近代化と連邦・地方政府」シンポジウム「日中国交回復40周
年：歴史と展望」（於：中国・遼寧大学）、2012年9月8・9日

「ロシアにおける近代化政策と地域経済」比較経済体制研究会（於：京都大学経済研究所）、
2012年9月19日

“Russian Economy from Japanese viewpoint and the Prospect of Japan-Russia Relationship”
（於：ロシア国立アストラハン大学）、2012年10月11日

渡部 照洋（ワタベ アキヒロ）

1 学会報告

“Life Cycle Greenhouse Gas Emissions from Sugarcane-based Bioethanol : The Case of San
Carlos Bioenergy Inc.,” *The 1st Philippine International Bioenergy Conference*, Manila, The
Philippines, January 2012

2 その他

Estimating the Impact of Sugarcane-based Bioethanol Production on the Philippine Economy : An Analysis based on the San Carlos Sugarcane District in Negros Occidental, Technical Report for the Philippine National Biofuels Board, Quezon City, The Philippines, August 2012

Estimating Life Cycle Greenhouse Gas Emissions from Sugarcane-based Bioethanol Production under the Philippine National Biofuels Roadmap, Technical Report for the Philippine National Biofuels Board, August 2012